



新潟県経営品質協議会 News Letter

2020年12月4日発行

新潟県経営品質協議会

No.7

新潟県経営品質協議会では、皆様に経営品質に関心をお持ちいただけるよう取り組みをおこなっております。

CONTENTS

特集 I 「日本経営品質賞【大企業部門】」

日鉄工材株式会社(上越市/金属加工)が受賞しました!

特集 II 経営品質の4つの基本理念と考える組織

事業創造大学院大学 新潟地域活性化研究所

客員教授 渡辺 芳久



2020年度「日本経営品質賞」受賞組織が発表されました!

最上位賞の「日本経営品質賞」が過去最多の4組織、そのほかに「経営革新推進賞」1組織、「経営革新奨励賞」1組織の計6組織となっております。日鉄工材株式会社(新潟県経営品質協議会・新潟県生産性本部会員)様が、県内で初めて日本経営品質賞を受賞されました。どうもおめでとうございます!

★日本経営品質賞(4組織)

【大企業部門】

■日鉄工材株式会社(新潟県上越市/金属加工)※日本製鉄㈱の子会社

【中小企業部門】

■石坂産業株式会社(埼玉県入間郡三芳町/産業廃棄物処理)

■株式会社オオクシ(千葉県千葉市/理美容)

【非営利組織部門】

■国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院(神奈川県横須賀市/医療)

★経営革新推進賞(1組織)

■株式会社森長工務店(大阪府大阪市/建設)

★経営革新奨励賞(1組織)

■株式会社アイ・ステージ(愛知県碧南市/保険代理店)

表彰セレモニーは2021年2月18日(木)、受賞組織等が革新活動の報告を行う「顧客価値経営フォーラム」は2021年2月18日(木)・19日(金)および3月12日(金)・23日(火)に、東京・霞ヶ関のイノホール他の会場およびオンラインで開催される予定です。

*詳細は経営品質協議会ホームページをご参照ください <https://www.jqac.com/jqaward/>

「経営品質の4つの基本理念と考える組織」

現在、私は経営コンサルタントとして中小企業の後継者や経営幹部を対象としたトップやミドルのマネジメントと、社員のキャリア開発のお手伝いをしています。後継者としての覚悟、リーダーシップのあり方、経営幹部としての自覚とミドルマネジメントの重要性、社員のキャリアアップと自律、それぞれの立場での戦略思考や戦略策定について語っています。お手伝いする際は常に、良い組織とは何か？良い経営者とは何か？良い管理者とは？社員の仕事人生はどうあるべきかを問い、一緒に考えるようにしています。そのときの指針となるのが「経営品質の4つの基本理念」です。それは、社会との調和、顧客本位、社員重視、独自能力(会社)です。

良い組織とはこの「4つの基本理念がバランス良く行われている組織であると理解しています。従って、「良い経営者・経営幹部・社員」とは、この4つの基本理念の視点に立って、それぞれの役割を認識・自覚し、戦略思考を持って仕事を遂行していく人ではないかと思っています。そして、「良い組織」になるためには、経営者と社員が共通する目的に向かって、4つの基本理念への貢献意欲を持ち、協働していくことが必要です。いわゆるバーナードの「組織の3要素」です。

社員の価値観が多様化し、組織と社員、あるいは社員同士の価値観や目的が必ずしも一致しない現在、組織と社員の目的が完全一致しないまでも、その目的の共有する部分を高め、広げていくことが重要ではないでしょうか。それには、組織(経営者)だけでなく、個人(社員)も主体的に経営参画していくことが必要です。

経営者は4つの基本理念の視点から「組織全体戦略」を考え、社員は人生設計である「個人戦略」をしっかり持ち、組織の中で「4つの基本理」の視点でその使命・役割をいかに果たせるかを考えていくことが大切です。経営者と個人が互いに「自立・自律」心を持って、win-winの関係を構築し、共通する目的に向かって協働していくことが重要であり、「組織戦略と個人戦略の融合」を図っていくことが問われていると思います。

経営者は経営理念やビジョンを、社員を始めとしたステークホルダーに対してしっかり示し、その実現に向けて組織を方向付け、リーダーシップを発揮していくことが求められ、大きな責任を負っています。

しかし、今は、経営者のリーダーシップだけでなく、組織における社員の主体的なキャリア形成もますます重要になっているように感じます。社員の成長、キャリアアップが組織を成長させ、組織の能力であるケイパビリティにつながっていきます。

社員は家庭という組織の経営者であり、会社は社員にとって労働という役務を提供しているお客様であると考え、主体的に行動していくことが大切なのではないでしょうか？経営者、社員それぞれが、戦略思考を持ち、良きパートナーとして共通目的に向かって邁進していくことが、「組織の自立・自律」につながり、「考える組織」として学習し、進化し続ける「良い会社＝エクセレント・カンパニー」として社会における存在価値を高めていくことになるのではないのでしょうか。

アートコーポレーションの寺田千代乃会長は日経新聞の「私の履歴書」の中で、「一流」という言葉には「自信」と「誇り」と言う言葉が含まれる。提供している商品やサービスの品質の追求は自信につながり、お客様の高い評価は誇りの源泉となる、と述べています。個人も組織も「4つの基本理念」に立って社会的使命を果たしていくことが、社会からの評価と信頼を得て、「自信」と「誇り」の持てるエクセレント・カンパニーになっていくということでしょう。

また、「社会のためになるか？お客様のためになるか？社員のためになるか、会社のためになるか？」と言う経営理念を掲げている新潟県を代表する企業があります。まさに、経営品質の基本理念である「社会との調和」「顧客本位」「社員重視」「独自能力」の視点に立った理念といえます。ますます複雑化し不確実になっていく今日、私たちはこの4つの視点にたつて、経営者も社員も一体となって、「考える組織」として学習し続けることが求められているのではないのでしょうか。

組織マネジメント研究所 所長

事業創造大学院大学 新潟地域活性化研究所

客員教授 渡辺 芳久

